

カナセライトの耐薬品性

カナセライトの常温時の耐薬品性は以下の通りです。

耐薬品性

試薬	判定	試薬	判定
硫酸(98%)	×	苛性ソーダ(48%)	○
硫酸(30%)	○	アンモニア(28%)	○
塩酸(36%)	×		
塩酸(30%)	○	ホルマリン	△
硝酸(60%)	×		
硝酸(10%)	○	酸素、オゾン	○
弗化水素(40%)	×	メタン	○
クロム酸(40%)	×	亜硫酸ガス	○
蟻酸(90%)	×	塩素ガス	△
氷酢酸(98%)	×	臭素ガス	△
クエン酸(20%)	○		
乳酸	△		
シュウ酸	○		
無水酢酸	×		

耐溶剤性

常温で溶解	膨潤、白化、クレーズが発生		耐性あり
アセトン	メタノール	ニコチン	ケテン
キシレン	エタノール	メチルナタリン	ヘプタン
クロロホルム	ブタノール	ニトロベンゼン	ブタン
二塩化メチル	クレゾール	アセトフェノン	ヘキサン
二塩化エチル	アリルアルコール	テトラリン	石油ベンジン
トルエン	アミルアルコール	シクロヘキサン	灯油
ベンゼン	イソプロピルアルコール	メチルエーテル	パラフィン
アニリン	フェノール	ジメチルエーテル	メチルアミン
ジアセトアルコール	ナフタリン	メチルシクロヘキサノール	ディーゼル油
テトラヒドロフラン	デカリン	パークロルエチレン	変圧器油
酢酸エチル	ソルベントナフサ	安息香酸メチル	オリーブ油
酢酸ブチル	シクロヘキサノール	硫酸エチル	食用油
ジメチルホルムアミド	モノクロルベンゼン	四塩化エチレン	エチレングリコール
	ジクロルベンゼン	四塩化炭素	グリセリン
	ジブチルフタレート	二硫化炭素	ステアリン酸エステル
	塩化ベンゾイル	酢酸	次亜塩素酸ナトリウム
	乳酸エチル	酪酸	
	ジブロムエチレン	フタル酸エステル	

耐薬品性は使用条件により大きくかわります。上記の分類は常温で応力の掛かかっていない状態での評価ですので、参考としてお取り扱い下さい。
 実際の使用に際しては、試験片等により使用条件での御確認の上ご使用ください。